

石岡市のお財布は



市の財政は、金額も大きく、専門用語が多いため、分かりにくいものです。

そこで、平成24年度の石岡市一般会計決算の1億円を家計簿の1万円に置き換え、市の財布をイメージしてみました。

また、市の財政はどのように変わったのか、10年前（平成14年度決算）の状況と比較してみました。

問い合わせ

財政課

☎23・1111

(内線234)

収入



給料（市税）	97万円 (±0)
パート収入 (使用料・負担金など)	17万円 (Δ3)
親からの仕送り (地方交付税・消費税交付金など)	79万円 (Δ5)
親からの援助 (国庫支出金・県支出金)	58万円 (+28)
ローン借り入れ（市債）	38万円 (+9)
貯金の取り崩し (基金繰入金)	2万円 (Δ4)
前年度からの繰越（繰越金）	24万円 (+10)
合計	315万円 (+35)

支出



食費（人件費）	52万円 (Δ8)
生活費（物件費）	34万円 (Δ3)
医療費・養育費（扶助費）	54万円 (+29)
家の補修代（維持補修費）	3万円 (±0)
ローンの返済（公債費）	35万円 (+3)
自治会費など（補助費など）	23万円 (Δ8)
家の増改築・家電の購入 (普通建設事業費など)	47万円 (Δ2)
貯金（積立金・貸付金など）	15万円 (+12)
子どもへの仕送り (国保・介護・下水道などへの繰出金)	37万円 (+8)
合計	300万円 (+31)

貯金とローン残高

貯金残高（基金残高）	91万円 (+37)
ローン残高（市債残高）	278万円 (Δ9)

※（ ）内は平成14年度との比較です。Δはマイナスを表します。平成14年度の額は、旧石岡市と旧八郷町それぞれの決算額の合計です。
※基金・市債とも、一般会計に係る分の残高です。また、基金からは、定額運用基金を除いています。

貯金を増やしなから、ローンを減らしていますが、引き続き、ローン残高の管理が必要です。

貯金とローンの残高

10年前と比べて、医療費や子どもへの仕送りが増えています。そのため、家の増改築・家電の購入を抑えたり、食費や生活費を抑えて赤字にならないようにしています。

支出

10年前と比べて給料は変わらず、依然として親からの援助や仕送りに頼っている状態です。自分で確保できる収入は、給料とパート収入を合わせても、3割程度です。

収入



10年前の
平成14年と
比べると